

《第14期「BRI経営塾」セッション2との合同開催》

日立製作所・日本アイ・ビー・エム/事業管理責任者ご発表による グローバル・イノベーション最新経営の推進

- 日 時 ■ 2016年 12月15日(木) 13:00~19:15
- 会 場 ■ 「企業研究会セミナールーム」(東京・麹町) TEL: (03)(5215)3511
- 講 師 ■ ①(株)日立製作所 戦略企画本部 経営企画室室長 山崎 武 氏

1985年4月に株式会社日立製作所に入社。人事勤労関係業務を担当後、マーケットリサーチ、マネジメント研修企画、情報機器関連営業などを経て、6年前より経営企画を担当。また、日立グループ全体での業務改革によるコスト削減を行う「Hitachi Smart Transformation Project」にも発足時点から関与。2015年4月より、戦略企画本部経営企画室長。現在に至る

- 講 師 ■ ②日本アイ・ビー・エム(株)コグニティブ・ソリューション事業部 常務補佐事業戦略担当
事業部長 樋口 正也氏

日本 IBM1993年入社。大和研究所、本社等にてソフトウェア関連事業、クラウドコンピューティング事業の立ち上げを行い、2009~2010年に米国ニューヨーク本社に赴任。2011年の震災直後より東北の復興支援、スマートシティ事業などに関わり、2012年より東北支社長、2013年北海道・東北支社長、2014年7月よりパートナー・アライアンス事業部ソリューション事業部長、Watson 事業部 EcoSystem 担当 事業部長を経て、現職。

◆ 開催にあたって

近年、日本企業においては、高いレベルで、付加価値を生み出す新規事業の育成が不可欠であります。グローバル超競争時代に求められる、ビジネスモデルの変革並びにイノベーションを生み出す環境・マネジメントスタイルの違いさらには顧客を中心とした事業戦略につきましても、日米を代表する企業2社より施策を学ぶものです。ぜひ、関係各位のご参加をお勧め申し上げます。

●受講料●1名 (税込、資料、懇親会費含む)

正会員	59,400円 本体価格 55,000円
一般	62,640円 本体価格 58,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。着信確認のご連絡後、受講票・請求書をお送り致します。

●お申し込み後のキャンセルは原則お受けいたしかねます。お申し込み者をご出席できない場合は、代理の方のご出席をお願い致します。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。

社団法人企業研究会 担当：福山

E-mail fukuyama@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町5丁目7番地2 麹町 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3513 FAX 03-5215-0951~2

企業研究会セミナー事務局 福山行 **FAX03-5215-0951~2**

160047-0101	2016.12.15.
申込書 「日立製作所、日本IBMによるグローバル・イノベーション」	
会社名	フリガナ
住 所	〒
TEL	FAX
e-mail	
ご氏名	フリガナ
	所 属 役 職

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

●プログラム ●

12月15日(木)

講演1部

13:00

①『日立におけるグローバル・イノベーション経営』

～グローバル経営推進と更なる成長と収益性向上に向けた改革例を探る～

■(株)日立製作所 戦略企画本部 経営企画室室長 山崎 武 氏

本講演では日立の経営改革を3つの時間軸に分けて紹介致します。第一は、経営危機からの脱却です。2008年度に当社は7千億円を超える赤字を計上し経営危機に陥りました。そこからどのようにして会社を立て直したのか、その具体的な打ち手を振り返ります。第二は、成長のためにどのような手を打ったかです。グローバル展開の加速や人財の強化、またキャッシュ創出に焦点を当てた施策などを紹介致します。第三は、社会や顧客の変化に対応して会社をどのように変革するのかを紹介致します。更なる成長と収益性向上のためには、顧客を中心とした事業に会社を作り変えることです。そのための具体的な打ち手を紹介致します。

1. 日立の概要
2. 経営危機からの脱却 (2009年～2012年)
3. 成長のための打ち手 (2013年～2015年)
4. 日立の社会イノベーション事業の概要と狙い (2016年～)
5. 経営のグローバル化
6. 経営基盤のトランスフォーメーション
7. 人財のグローバル活用
8. まとめ

15:00

(休憩)

講演2部

15:10

②『IBM Watson 最新動向と事例』

～Watsonによる革新的なビジネスの実践に向けて～

■日本アイ・ビー・エム(株)コグニティブ・ソリューション事業部 常務補佐事業戦略担当

事業部長 樋口 正也氏 氏

IBM Watsonは、どのような形態の非構造化データも扱うことができ、理解・学習し、仮説を立てて推論する、新時代を切りひらくコンピューターとしてすでに実用段階に入っています。企業での導入と並行して各社のユースケースも多様化してきています。企業はWatsonをどのように活用することで、イノベーションを生み出すことができるのか、国内外での最新事例とユースケースから、Watsonの革新的な活用のアイデアやビジネスへの活用のためのヒントをご提供します。

1. IBM Watsonの概要と最新動向
2. Watsonを活用した国内外でのお客様の事例
3. ユースケース毎のWatsonの活用パターン
4. 今後のWatsonのロードマップ

17:00

17:15

全体討議

「日・米トップ企業によるグローバル・イノベーション経営スタイルについて」のレビュー

進行:元アクセンチュアシニアパートナー 油井 直次氏

18:15

懇親会

19:15